

戦時下の横浜専門学校



横浜専門学校にて開催された学徒出陣壮行会（1943年）
出陣学徒を見送る米田が見える



（上）記念祭で航空研究部の展示を訪れた米田と林校長（1942年）（下）米田が出席したクラス会・於木更津（1943年）

工学三科を設け順調に発展していた横浜専門学校でしたが、学校が誕生した昭和初期という時代は、戦争が隣り合わせの社会でもありました。米田や学生たちは、そうした戦争を意識しながら学校生活に取り組んでいました。

戦局の悪化とともに行われた学徒勤労働員や学徒出陣は、学生にとって戦時下を象徴する大きな出来事です。

文系学生を対象に行われた学徒出陣ですが、当初、横浜専門学校の工業経営科は文系学科とみなされ徴集猶予の対象にはなりませんでした。学徒出陣が実施された1943（昭和18）年、衆議院議員をつとめていた米田は工業経営科が猶予されるよう陸軍にかけあい、その申し入れは通りましたが、戦争という時局に抵抗することは出来ず、横浜専門学校からも多くの学生が戦地に赴くことになりました。